

2026年(令和8年)
2月号(第57号)
発行：東志賀学区
連絡協議会



成人式 門出祝う

未来へ 希望の灯



希望に満ちた未来へ向かって、決意を新たに！
東志賀学区の成人式が1月、小学校で開かれました。学区は毎年、住民で力を合わせて式典の企画と運営をしています。今年もアットホームな式を総出で準備し、地元で育った若者たちの晴れの日をみんなで祝いしました。

アメフトで日本一を目指す！

伊藤憲伸さん



成人式を「みんな見違えるほど成長しているのに、雰囲気は昔のままで不思議な気分でした」と回想。「自立しつつ、新しいことにワクワクする子供も持っている大人を目指したい」と語ってくれました。街で出会った人と気軽に言葉を

私の誓い



成人式で誓いの言葉を述べた吉田ひかりさんと伊藤憲伸さんに今後の目標や学区への思いを聞きました。吉田さんは獣医師とドルフィントレーナーの夢を叶えるため大学で獣医学を学んでいます。「幼い頃からの夢が現実になりつつあることに不思議な感覚を覚えています」。KPOP好きが高じて韓国語の勉強にも励んでいるそうです。

吉田ひかりさん

新たなチャレンジ大事に

式典の華は学区伝統の「希望の灯」。代表者がロウソクに灯をともし、明るい未来を誓い合いました。大人の責任を果たし、幸せな人生を送るため、交通安全宣言もしました。
会場には小学校時代の恩師も駆けつけ、たくましく育った教え子たちに激励のメッセージを届けてくれました。新成人は花束を渡して感謝の思いを伝えました。晴れ着姿で久しぶりの母校に集った同窓生。すでに仕事をがんばっている社会人にとっても、夢に向かって勉強やスポーツに打ち込む学生にも、忘れられない節目の一日になりました。

伊藤さんは大学のアメリカソフトボール部に所属するスポーツマン。今は熱中しているアメフトで活躍することが最大の目標とい、「日本一を目指しています。また、アメフトの魅力が地域のの人に知ってもらいたい」と夢を語ります。住民が準備した成人式に参加し、「地域に支えられて成長できた。これからは自分も地域に貢献していきたい」と感じたそう。「東志賀は人が温かく、居心地が良い。ずっと住み続けたい」と思える学区です。地元愛の強い伊藤さんは「人との関わりを大切にしながら、周りからも頼られる大人に成長したい！」と決意を語ってくれました。

セージを届けてくれました。新成人は花束を渡して感謝の思いを伝えました。晴れ着姿で久しぶりの母校に集った同窓生。すでに仕事をがんばっている社会人にとっても、夢に向かって勉強やスポーツに打ち込む学生にも、忘れられない節目の一日になりました。

街のニュース&題字募集中です!

■電話=学区長の山崎悦男さん
090(1277)3131
■メール=天野さん、神藤さん
heroeshensyuubu@gmail.com

地域を知る 学区のHP

東志賀学区の生活やイベントの情報は公式ホームページ(HP)でチェックできます。ぜひ、のぞいてみてください。2次元コードからアクセスできます。



電子版新聞 ここから!

過去のヒーローズとボランティア通信「ささえあい」は北区社会福祉協議会HPから。



手づくりの式典 大切な地元の新成人のため

「東志賀で育った子たちの門出を温かい式で祝ってあげたい」。学区の成人式は、そんな住民たちの思いが詰まっています。

学区の各種団体の役員や町内会長、有志の住民は今年も前日に会場の設営に当たりました。当日も早朝に集合し、受付や式の進行、写真撮影、後片付けなどをしてくれました。行政ではなく住民が運営する成人式は名古屋市独自の文化で全国的には珍しい仕組みです。式典は住民の真心がベースになっています。学区長の山崎悦男さんは新成人に向けて「皆さんの立派な姿を見て、恩師の先生や、登下校の見守りをしてくれた地域の住民もとても嬉しい気持ちだと思います」とあいさつ。「感謝の



山崎学区長「感謝の心を持った大人に」



心は運を引きつける力があると
言われています。感謝の気持ち
を忘れずに大人としての第一歩
を踏み出していただきたい」と
激励し、地域活動への協力も呼
びかけました。



交通安全の見守り任せて!

「ゼロの日」

悲しい交通事故を防ぐため、学区の交通委員
員会が中心となり、「ゼロの日」に黒川の
交差点で街頭活動を続



けてくれています。役員さんや町内会長さん、寒い時期の当番もありがとうございました。住民の皆さん、交差点を渡る際は、あいさつと「お疲れ様です」の声をかけをお願いします!

今月の題字

2月号は東志賀小6年の浅井希紗蘭さんと金子由惟さんが節分をテーマにしたかわいい作品を一緒に描いてくれました。「鬼は外 福は内!」待望の春がもうすぐやってきます♪

安田さんの野鳥日記 アオサギ@御用水跡



愛鳥家の安田耕治さんが、りりしい姿で川面に立つアオサギの写真を届けてくれました。大型のサギで、翼を広げると1・5メートル以上の大きさになります。庄内川や黒川(堀川)で観察できるほか、名城公園では樹木の上に巣を作り子育てをしているそうです。

アメリカ力編集室便り



先日、仕事で赤道直下の太平洋に浮かぶエクアドルのガラパゴス諸島を訪ねました。島には珍しい生き物がたくさん暮らし、世界中から観光客がやって来ます。島は大陸から離れているため、動植物は独自の進化をとげてきました。写真はガラパゴス・ゾウガメです。島の人たちは希少な生き物を保護して、生物の多様性を守る活動に力を入れています。(鈴木龍司)